

温泉の成分、禁忌症及び入浴上の注意事項揭示証

成 分	禁忌症、入浴上の注意事項																																																								
<p>1. 温泉利用施設名 小田急箱根レイクホテル</p> <p>2. 源泉名 元箱根温泉</p> <p>台帳番号 元箱根 第26号</p> <p>3. 泉 質 カルシウム・ナトリウム・マグネシウム-硫酸塩・炭酸水素塩泉</p> <p>低張性 中性 高温泉</p> <p>4. 泉 温 源泉 55.5℃</p> <p>使用位置 41.2℃</p> <p>5. 温泉の成分 知覚的試験 無色透明、微弱な苦味、無臭</p> <p>pH 7.1</p> <p>電気伝導率 141 mS/m</p> <p>蒸発残留物 820 mg/kg</p> <p>成分総計 1708 mg/kg</p>	<p>1 禁忌症及び適応症</p> <p>(1) 一般的禁忌症(浴用)</p> <p>病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期</p> <p>(2) 泉質別禁忌症(浴用)</p> <p>特に該当なし</p> <p>(3) 一般的適応症(浴用)</p> <p>筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進</p> <p>(4) 泉質別適応症(浴用)</p> <p>きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症</p> <p>2 浴用の方法及び注意</p> <p>温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。</p> <p>ア. 入浴前の注意</p> <p>(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。</p> <p>(イ) 過度の疲労時には身体を休めること。</p> <p>(ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。</p> <p>(エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。</p> <p>(オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。</p> <p>(カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。</p> <p>イ. 入浴方法</p> <p>(ア) 入浴温度</p> <p>高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。</p> <p>(イ) 入浴形態</p> <p>心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。</p> <p>(ウ) 入浴回数</p> <p>入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。</p> <p>(エ) 入浴時間</p> <p>入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。</p> <p>ウ. 入浴中の注意</p> <p>(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。</p> <p>(イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。</p> <p>(ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。</p> <p>エ. 入浴後の注意</p> <p>(ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。)</p> <p>(イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。</p> <p>オ. 湯あたり</p> <p>温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。</p> <p>カ. その他</p> <p>浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。</p>																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">陽イオン</th> <th style="width: 25%;">ミリグラム</th> <th style="width: 25%;">陰イオン</th> <th style="width: 25%;">ミリグラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン (H⁺)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>水酸イオン (OH⁻)</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>リチウムイオン (Li⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.065</td> <td>フッ素イオン (F⁻)</td> <td style="text-align: center;">0.14</td> </tr> <tr> <td>ナトリウムイオン (Na⁺)</td> <td style="text-align: center;">124</td> <td>塩素イオン (Cl⁻)</td> <td style="text-align: center;">31.4</td> </tr> <tr> <td>カリウムイオン (K⁺)</td> <td style="text-align: center;">21.7</td> <td>臭素イオン (Br⁻)</td> <td style="text-align: center;"><1</td> </tr> <tr> <td>アンモニウムイオン (NH₄⁺)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>ヨウ素イオン (I⁻)</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>マグネシウムイオン (Mg²⁺)</td> <td style="text-align: center;">60.3</td> <td>硫化水素イオン (HS⁻)</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>カルシウムイオン (Ca²⁺)</td> <td style="text-align: center;">122</td> <td>硫酸イオン (SO₄²⁻)</td> <td style="text-align: center;">408</td> </tr> <tr> <td>ストロンチウムイオン (Sr²⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.388</td> <td>炭酸水素イオン (HCO₃⁻)</td> <td style="text-align: center;">459</td> </tr> <tr> <td>バリウムイオン (Ba²⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.049</td> <td>炭酸イオン (CO₃²⁻)</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>全鉄イオン (Fe²⁺+Fe³⁺)</td> <td style="text-align: center;">1.44</td> <td>硝酸イオン (NO₃⁻)</td> <td style="text-align: center;"><0.1</td> </tr> <tr> <td>アルミニウムイオン (Al³⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.017</td> <td>リン酸水素イオン (HPO₄²⁻)</td> <td style="text-align: center;"><0.1</td> </tr> <tr> <td>マンガンイオン (Mn²⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.291</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">陽イオン計</td> <td style="text-align: center;">330</td> <td style="text-align: center;">陰イオン計</td> <td style="text-align: center;">899</td> </tr> </tbody> </table>	陽イオン	ミリグラム	陰イオン	ミリグラム	水素イオン (H ⁺)	—	水酸イオン (OH ⁻)	—	リチウムイオン (Li ⁺)	0.065	フッ素イオン (F ⁻)	0.14	ナトリウムイオン (Na ⁺)	124	塩素イオン (Cl ⁻)	31.4	カリウムイオン (K ⁺)	21.7	臭素イオン (Br ⁻)	<1	アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	—	ヨウ素イオン (I ⁻)	—	マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	60.3	硫化水素イオン (HS ⁻)	—	カルシウムイオン (Ca ²⁺)	122	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	408	ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.388	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	459	バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.049	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	—	全鉄イオン (Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	1.44	硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	<0.1	アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.017	リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	<0.1	マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.291			陽イオン計	330	陰イオン計	899	
陽イオン	ミリグラム	陰イオン	ミリグラム																																																						
水素イオン (H ⁺)	—	水酸イオン (OH ⁻)	—																																																						
リチウムイオン (Li ⁺)	0.065	フッ素イオン (F ⁻)	0.14																																																						
ナトリウムイオン (Na ⁺)	124	塩素イオン (Cl ⁻)	31.4																																																						
カリウムイオン (K ⁺)	21.7	臭素イオン (Br ⁻)	<1																																																						
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	—	ヨウ素イオン (I ⁻)	—																																																						
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	60.3	硫化水素イオン (HS ⁻)	—																																																						
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	122	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	408																																																						
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.388	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	459																																																						
バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.049	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	—																																																						
全鉄イオン (Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	1.44	硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	<0.1																																																						
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.017	リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	<0.1																																																						
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.291																																																								
陽イオン計	330	陰イオン計	899																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">遊離成分</th> <th style="width: 25%;">ミリグラム</th> <th style="width: 25%;">微量成分</th> <th style="width: 25%;">ミリグラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタケイ酸 (H₂SiO₃)</td> <td style="text-align: center;">262</td> <td>銅イオン (Cu²⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.001</td> </tr> <tr> <td>メタホウ酸 (HBO₂)</td> <td style="text-align: center;">3.76</td> <td>鉛イオン (Pb²⁺)</td> <td style="text-align: center;"><0.001</td> </tr> <tr> <td>遊離二酸化炭素 (CO₂)</td> <td style="text-align: center;">213</td> <td>総水銀 (Hg)</td> <td style="text-align: center;"><0.0005</td> </tr> <tr> <td>遊離硫化水素 (H₂S)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>総ヒ素 (As)</td> <td style="text-align: center;">0.032</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>亜鉛イオン (Zn²⁺)</td> <td style="text-align: center;">0.005</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">遊離成分計</td> <td style="text-align: center;">479</td> <td style="text-align: center;">微量成分計</td> <td style="text-align: center;">0.038</td> </tr> </tbody> </table>	遊離成分	ミリグラム	微量成分	ミリグラム	メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	262	銅イオン (Cu ²⁺)	0.001	メタホウ酸 (HBO ₂)	3.76	鉛イオン (Pb ²⁺)	<0.001	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	213	総水銀 (Hg)	<0.0005	遊離硫化水素 (H ₂ S)	—	総ヒ素 (As)	0.032			亜鉛イオン (Zn ²⁺)	0.005	遊離成分計	479	微量成分計	0.038																													
遊離成分	ミリグラム	微量成分	ミリグラム																																																						
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	262	銅イオン (Cu ²⁺)	0.001																																																						
メタホウ酸 (HBO ₂)	3.76	鉛イオン (Pb ²⁺)	<0.001																																																						
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	213	総水銀 (Hg)	<0.0005																																																						
遊離硫化水素 (H ₂ S)	—	総ヒ素 (As)	0.032																																																						
		亜鉛イオン (Zn ²⁺)	0.005																																																						
遊離成分計	479	微量成分計	0.038																																																						
<p>6. 温泉の分析年月日 平成26年7月4日</p> <p>7. 分析機関の名称 一般財団法人 北里環境科学センター</p> <p>及び登録番号 神奈川県知事登録第2号</p>																																																									
<p>成分に影響を与える項目の揭示事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">成分に影響を与える項目</th> <th style="width: 80%;">該当の有無(有の場合はその理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温泉の加水</td> <td>行っています。(理由: 浴槽清掃時に温泉供給量を補うために加水しています。)</td> </tr> <tr> <td>温泉の加温</td> <td>行っています。(理由: 入浴に適した温度に保つため加温しています。)</td> </tr> <tr> <td>入浴剤の使用</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>循環装置の使用</td> <td>行っています。(理由: 衛生管理のため循環ろ過装置を使用しています。)</td> </tr> <tr> <td>消毒処理の有無</td> <td>行っています。(理由: 衛生管理のため塩素系薬剤を使用しています。)</td> </tr> </tbody> </table>	成分に影響を与える項目	該当の有無(有の場合はその理由)	温泉の加水	行っています。(理由: 浴槽清掃時に温泉供給量を補うために加水しています。)	温泉の加温	行っています。(理由: 入浴に適した温度に保つため加温しています。)	入浴剤の使用	なし	循環装置の使用	行っています。(理由: 衛生管理のため循環ろ過装置を使用しています。)	消毒処理の有無	行っています。(理由: 衛生管理のため塩素系薬剤を使用しています。)																																													
成分に影響を与える項目	該当の有無(有の場合はその理由)																																																								
温泉の加水	行っています。(理由: 浴槽清掃時に温泉供給量を補うために加水しています。)																																																								
温泉の加温	行っています。(理由: 入浴に適した温度に保つため加温しています。)																																																								
入浴剤の使用	なし																																																								
循環装置の使用	行っています。(理由: 衛生管理のため循環ろ過装置を使用しています。)																																																								
消毒処理の有無	行っています。(理由: 衛生管理のため塩素系薬剤を使用しています。)																																																								
	<p>3 禁忌症、適応症決定年月日 平成 年 月 日</p> <p>4 決定者 神奈川県小田原保健福祉事務局長</p>																																																								